

令和元年度 白井市健康づくり推進協議会

日時：令和元年10月30日（水）13:30～14:30

会場：保健福祉センター2階 検診室

<要点会議録>

【次第】

1. 開 会
2. 市長あいさつ
3. 会長あいさつ
4. 議 題
 - (1) 平成30年度保健衛生事業の実績報告について
 - (2) 白井市民の「健康」に関するアンケート調査について
 - (3) 令和2年度保健衛生事業計画（案）について
 - (4) その他
5. 閉 会

【出席委員】 瀬野会長、飯尾副会長、真木委員、呂林委員、甘利委員、河本委員、菅森委員、本間委員、国府委員、折原委員、道塚委員

【欠席委員】 伊藤委員

【事務局】 笠井市長、岡本健康子ども部長、佐藤健康課長、竹内係長、石田主任歯科衛生士（歯科口腔保健）、三笠主任保健師（健康増進）、荒木主任保健師（自殺対策）、金田栄養士（食育推進）、渡邊主任看護師、戸田主任保健師

【傍聴者】 0人

【内 容】（進行：事務局）

※会議運営の説明

白井市審議会等の会議の公開に関する指針の規定に基づき進行し、次の4点について承認を得る。

- 1 会議は公開が原則で、議題の全てについて公開する。
- 2 会議の開催は、事前に公表する。
- 3 先着順に5名まで傍聴できることとする。
- 4 審議概要を作成し公表する。審議概要については、発言者の氏名は伏せて作成し、正確を期するため録音を行う。

※新任委員2名の紹介（本間委員、国府委員）

※白井市附属機関条例第6条第2項の規定により、委員の出席者数が過半数を超えるため、会議が成立する。

※事前配布資料の確認

会議次第、議題1～3資料

(アンケート調査票3種類、健康増進計画・食育推進計画・歯科口腔保健推進計画の実績報告及びめざそう値の達成に向けた経過一覧表、白井市民の健康に関するアンケート調査前回比較表、国の健康寿命延伸プラン)

※机上資料の確認

健康増進ルームの運営の見直しに関する資料

1. 開 会

2. 市長あいさつ

3. 会長挨拶

4. 議 題 (進行：会長)

(1) 平成30年度保健衛生事業の実績報告について

事務局より、平成30年度保健衛生事業の実績報告について説明。

(質疑応答等)

会 長

1 ページの大腸がん検診について、目標値が平成30年度以降全て15%になっているが、実績値はすでに15%を超えている。目標値を変更しないのか。同じような数値で、3 ページ上の口腔機能の向上に向けた歯の喪失防止の取り組みでは、平成31年度欄に※印で30年度の実績を踏まえ、翌年からの目標値を15%から20%に変更して実施するというコメントが入れている。

事務局回答

計画上の目標値は変更しないが、目標値を下げていいというわけではないので、前年度の平成30年度実績の30.3%と同等もしくはそれ以上に成果を出せるような形で対応していきたいと考えている。

会 長

そのように考えているのであれば、次回からその旨を記載していただきたい。

会 長

2 ページ4 番、歯科口腔保健推進計画の文中、「妊娠中の歯科疾患重症化予防のため、新たに～」の「新たに」と入ったままになっている。この5年計画を作った1 回目は「新たに」が入っているが、毎回「新たに」を入れた文章とせずに、作成していただきたい。

委員

2ページの栄養士連絡会の関係機関からの意見内容で“よくかんで食べていると認識している児童・生徒が少ないため”と表記がある。給食の時間が15分くらいで食べ終わらなければならず、よくかんでということが学校では実情として難しいと思っている。家でどういうふうにかんで食べてもらうのかというところで、学校と家庭間の連携ができるのか。学校では早く食べなさいと言われ、家ではよくかんで食べなさい。このバランスをどうとればいいのか。

事務局回答

栄養士連絡会では、このような学校での状況の課題も出ており、1年生は準備の時間がかかるので4月から授業時間を少し削って準備を早めにして時間をとる対応をしているが、高学年になると決められた15分や20分という小学校が多かった。その部分は限られた時間ではあるが、よくかんで味わって食べることを指導するということになっている。今後、学校と家庭間での連携について検討していきたい。

(2) 白井市民の「健康」に関するアンケート調査について

白井市民の「健康」に関するアンケート調査について、事務局より説明。

(質疑応答等)

会長

学生を対象としているところ、特に小学生に関して9校の小学5年生全員を予定しているが、不登校者はどうするのか決まっているのか。このようなアンケートをとるうえで、不登校などの特殊な境遇にある児童生徒の意見というのは大事なデータになると思うが、調査方法が学校配布、学校回収となっているので、不登校者はここから除外されてしまうとデータの偏りが出るかと思うがいかがか。

委員

不登校者に対しては、学校としてもアプローチをとっている。例えば手紙を持って行く、勉強を教えに行くなど接点を作っているので、そういう時に渡して回収できるかと思う。

(3) 令和2年度保健衛生事業計画(案)について

令和2年度保健衛生事業計画(案)について、事務局より説明。

委員

10ページにある自殺対策取組事業の説明をいただいたが、リーフレットや交通機関等との協力による啓発はぜひ積極的にやっていただきたいと思う。なかなか効果が判定しにくいと思うが、市民の立場からすると、こういったものに触れる機会がないと全く意識を持たないと思う。

委員

自死家族に対する支援情報の提供について、相続などの公的手続きの場所が分散してしまっているため、それを一か所に集約して家族の負担を減らそうという動きが出てきている。白井市ではそういった動きはどのようなものか。ワンストップの情報の提供ができる形を検討するということはあるのか。

事務局回答

自死遺族の方だけではなく、死亡届けを出された方、大切な家族を亡くされた方たちが利用できる情報を一覧にしたリーフレットを市民課でお渡ししているが、そちらに自死遺族に関する情報も追加する形でお渡しできるようにしたいと考えている。

事務局回答

本庁舎を建て替える際に総合窓口を検討したことがあるが、窓口1つでやるのは難しいという意見だった。その結果、今は本庁舎の中に市民課を中心に、手続きが必要であろう課を1つのフロアに集約して、窓口間の移動距離を少なく手続きが出来るような形で対応させていただいている。

委員

自殺をされた遺族の方に受付でパンフレットを渡すということは、死亡診断書の病名から自殺を判断するのか。

事務局回答

内容がわかるものも、わからないものもあると聞いておりますので、一律に死亡届けを出された方にお渡しします。

(4) その他

事務局より、報告事項1として、健康増進ルーム運営の見直しの経過報告。報告事項2として、次期計画を策定する参考として、国が示した「健康寿命延伸プラン」を配付した旨の報告あり。

次回の健康づくり推進協議会は、令和2年3月25日（水）13時30分からの開催を予定しており、議題は下記のとおり。

- 1 白井市民の「健康」に関するアンケート調査の報告について
- 2 自殺対策計画のめざそう値等の決定
- 3 市の健康課題について
- 4 次年度計画策定までのスケジュールについて

5. 閉 会

以上